

## 第68回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年12月23日（金）18：00～19：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会	会長
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所	所長
金井 忠男	埼玉県医師会	会長
川名 明彦	防衛医科大学校	教授
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会	会長
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター	副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院	理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会	会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター	教授

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
三須 康男	危機管理防災部長
金子 直史	福祉部長
山崎 達也	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長
石井 貴司	副教育長
岸本 剛	衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価

- ワクチン未接種の方の重症化が多くなっている。引き続きワクチン接種に係る活動を継続してほしい。（竹田委員）
- 社会経済活動と感染状況は、感染拡大のスピードが第6波や第7波と比べて緩やかであり、何とかバランスが取れている状態である。（川名委員）
- 入院調整については、数値以上に厳しい。通常の今の時期はコロナ以外の患者や救急も多く、医療機関が厳しい状況である。（光武委員）

#### 【県の対応】

- 感染状況について引き続き注視していく。

### イ 埼玉県の対応について

- レベル分類については、レベル2を維持する。ただし、状況に変化があれば、年末年始期間中でもレベル分類を変更することも考える。（一同）
- 第8波に対応する検査・保健・医療提供体制、年末年始に向けた体制の強化や対応については提案のとおりで良い。（岡部委員、川名委員）

#### 【県の対応】

- 埼玉県のレベル分類は、「レベル2」とする。
- 感染状況がより厳しいものになる兆候があれば、レベル分類の変更やさらなる措置を検討する。